

言闘敢

日垣 隆

現役で尊敬できる人はいますか？

環境工学の永遠のチャレンジャー中西準子さんを、私は尊敬している。理由の第一は、仕事上でぶつかった問題から逃げず、それらと闘い続けてきた人だから。

天下国家の「あるべき」論は振り回すのに、自分の周りで起きた理不尽には見て見ぬふりを決め込む男たちが多いなかで、まぶしい存在だ。外見は普通のおばさんであるが。

東大「万年」助手時代に書いた下水処理に関する実証的な論文も、上司である教授に行政が圧力をかけ、発表しないように教授が命じたときにも、彼女は屈しなかった。彼女の教え子である学生や院生にまで差別が及んでも、辞職覚悟でその実態を学内掲示板に公表し、すべてが改善されることになる。

私は、足許の問題を着実に解決できる人こそが、世の中を改善していけるのだと思う。

中西さんを尊敬する第二の理由は、完全に納得するまで、どんなにきつい研究でも止めず、関係者に説得する希望を捨てないこと。

第三に、ダイオキシンや環境ホルモンに関する調査も、真摯に実態調査とリスク評価を行い、九割がたの学者や記者や市民運動家が陥りがちな、いたずらに不安を煽る安易な姿勢とは無縁であり続けてきたこと。

最新刊『環境リスク学』（日本評論社）を、騙されたと思ってお読みいただきたい。

現代における最も重要な問題と解法のヒントがそこには具体的に描き出されている。

（ひがき たかし）



■撮影＝萩原義弘